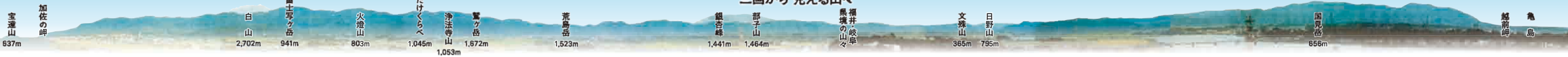


三国から見える山々



三国港突堤

国の重要文化財で、明治時代オランダ人技師エッセルが設計、デ・レイケが工事監督を行い完成させました。基礎には粗朶沈床(木を束ねたものを組みその中に石を入れる工法)を用い、自然環境にやさしいつくりになっています。現在でも三国港の港湾保全に欠かせない建造物です。

旧岸名家

越前国三国湊で材木商を営んだ新保屋岸名惣助が代々住んでいた町家。「カグラ建て」と呼ばれる三国独特の建築様式で建てられています。

旧森田銀行本店

北前船による廻船業を生業とした豪商「森田家」が明治半ばに創立した銀行。県内最古の鉄筋コンクリート建造物で、登録有形文化財です。

日和山と金鳳寺

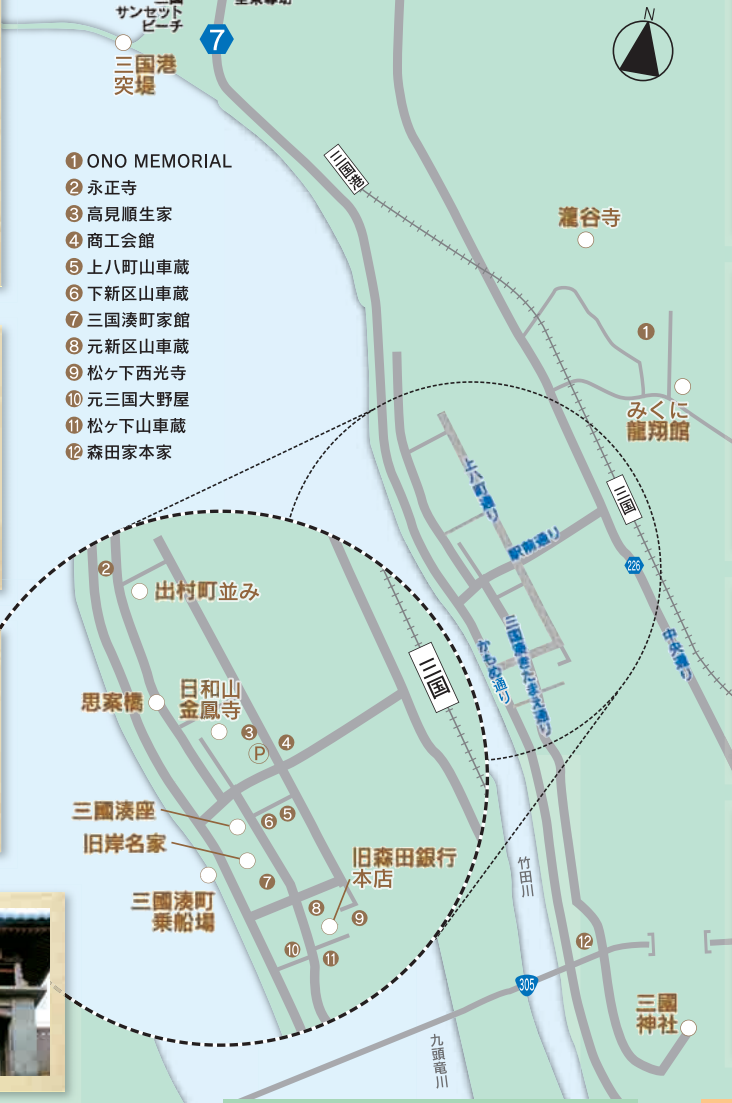
永正年間(1504~1520)に開山された曹洞宗禅寺。港を見下ろすことのできるこの寺は、かつて船頭たちが風などの様子を日和見し、出港の具合を決めていたことから「日和山」と呼ばれました。

出村遊郭付近と思案橋

北前船の寄港地として栄えた三国には、全国で5本の指に入る遊郭があったと言われています。その遊郭は出村と呼ばれ今もその名残が町並みに残されています。思案橋はその遊郭の出入口であったと言われ、行く人が「行こうか、やめようか」思案した場所です。

三国神社

古くは継体天皇にゆかりのある神社。境内には福井県指定有形文化財の「隨身門」があります。毎年5月に行われる「三国祭」は江戸時代からの歴史があり、巨大な武者人形山車が奉納されます。三国祭 5月19日・20日・21日



三国湊グルメ

おろしそば
三国湊では様々なおろしそばが味わえます。店によって味も個性も違うので食べ歩きしてみてください。

寿司海鮮料理
三国港で水揚げされた豊富な魚介類。新鮮なものを寿司や丼、定食で味わうことができます。

三国バーガー
三国湊のご当地バーガー。地元食材にこだわった一品で、一つ一つ手作りで。



三国湊スイーツ

鶯餅
「春水に沿い帯びのごと 三国町うぐいす餅に語る 今昔」と、高浜虚子とその直弟子伊藤柏翠が詠んだ連歌にも残る、歴史と風情薫る銘菓です。

酒まんじゅう
三国湊の名物で、こしあんを包む皮には甘酒が使用されているため独特の風味があります。

ゼラート
季節や時間によって変わる手作りのゼラートは延べ100種類にもなります。



三国湊の歴史は三国港の歴史そのもの。北前船交易で栄華を誇る繁栄を見せた江戸時代。高度な文化意識と豊かな財政を基盤に大事業を行った明治時代。鉄道時代の幕開けとともに漁港へと転化していった明治中期。そして、様々な時代の名残をみせる現代。1日ではまわりつくせない奥深い町。

瀧谷寺

瀧谷寺は1375年に創建された三国で最古の寺院です。国宝や重要文化財も多く、山水庭園は、いつまで見ても飽きない美しさです。

みくに龍翔館

明治時代にオランダ人エッセルによってデザインされた小学校を郷土資料館として復元したものです。八角形という個性的な形をしています。

三国湊の名産品

らっきょうや塩うに、粉わかめなど三国湊には珍味がたくさん。ぜひ、お土産にお持ち帰りください。

三国湊座 クルーズ集合場所

三国の町中ツーリストセンター。オリジナル土産のほかレンタサイクルもあるので、町歩きの出点になります。



東尋坊

東尋坊の見どころは、何といても長い年月をかけ波で侵食され、荒々しくも美しい断崖美。その岩々は、柱のように垂直に立っていることから、学術名「輝石安山岩の柱状節理」と呼ばれています。これほど巨大なものは日本でここだけしかなく、夕陽に染まる姿は日本の夕陽百選にも選ばれています。

雄島

伝説と神秘に満ちた島で、地元安島では「神の島」と呼ばれています。4月には雄島祭りが行われ、たくさんの鯉のぼりが橋の上に上がり、舟神輿が海を渡り一年の安全を祈願します。

東尋坊商店街

東尋坊のショッピング街でお土産やお食事処が軒をつらねます。おすすめはイカやホタテの浜焼き、 vari 種ソフトクリームです。お食事はもちろん「海の幸」を堪能してください。うに・イクラ・甘エビ・カニなど新鮮な魚介類が味わえます。また、福井名物「ソースカツ丼」や「おろしそば」もあります。



荒磯遊歩道

全長4キロに及ぶ散歩道。三国サンセットビーチ周辺から東尋坊、雄島近くまで、三国ゆかりの文人の碑が点在する海辺の小道が続きます。

磯浜聴音器

福島の浜近くにあるこのメガホンのようなもの。耳をあててみてください。おどろくほど波の音が良く聞こえます。

海食洞

長い時間をかけて波がつくり出した洞窟です。船から見ることもできますが、すぐ近くまで歩いて降りれるポイントもあります。

